

平成28年度決算の概要 をお知らせします

一般会計は、歳入66億5,901万円(対前年度比0.5%の増)、歳出61億9,964万円(対前年度比0.4%減)となりました。

歳入歳出差引額は4億5,937万円となり、平成28年度から平成29年度に繰り越すべき財源を差し引いた額(実質収支額)は2億9,509万円で、そのうち1億4,800万円は財政調整基金へ積立て、1億4,709万円を繰越金としました。

※以下、前年度決算額から大きく増減のあった項目等について順に示します。

〔一般会計〕

〈歳入〉

町税：1,041万円、0.4%増となりました。個人町民税が3,188万円の増加となった一方で、法人町民税や固定資産税が減額となりました。都市計画税は1億1,396万円の収入があり、下水道事業へ充当しました。

地方交付税：1億1,501万円、8.2%減となりました。このうち普通交付税は1億1,785万円、9.2%減、特別交付税は283万円、2.4%増となりました。普通交付税の減額については、基準財政需要額の減少にくわえ、町民税が増額となったことなどによる基準財政収入額の増額

が、主な減額要因となりました。

国庫支出金：903万円、1.5%減となっています。

県支出金：豪雪災害による農作物等災害緊急対策事業補助金の減などにより、1億4,042万円、31.4%減となりました。

寄附金：ふるさと納税が昨年に引き続く大幅な増額により4,040万円、167.4%増となりました。

繰入金：役場新庁舎整備事業平成28年度施工分の支払いに充てるための基金繰入れにより、2億9,476万円、121.2%増となりました。

町債：公共事業等債の借入が減額となったことなどにより、1億7,060万円、29.2%減となりました。

〈歳出〉

農林水産業費：2億7,939万円、61.6%の減となりました。これは、豪雪災害による農業生産施設被害特別支援事業補助金およびオンラインガルトン整備事業の完了に伴い減となりました。

公債費：平成24年度借入臨時財政対策債などの償還が始まったことや、平成27年度の繰越金を財源に繰り上げ償還を行ったことなどにより、2億2,533万円、29.0%増となりました。

商工費：プレミアム商品券事業補助金が終了したことなどにより、1,713万円、20.0%の減となりました。総務費：新庁舎の建設工事が始まっ

特別会計の決算状況

会計名	歳入 41億1,950万円			歳出 37億5,047万円		
	決算額	前年度	対前年度比	決算額	前年度	対前年度比
住宅新築資金等貸付事業	563万円	684万円	△17.7%	563万円	684万円	△17.7%
小沼地区財産管理	356万円	367万円	△3.0%	315万円	316万円	△0.3%
国民健康保険事業勘定	21億4,637万円	21億3,726万円	0.4%	18億5,024万円	18億9,098万円	△2.2%
公共下水道事業	7億2,913万円	6億6,183万円	10.2%	7億2,736万円	6億5,664万円	10.8%
御代田財産区	1,379万円	1,283万円	7.5%	1,308万円	1,235万円	5.9%
介護保険事業勘定	10億4,277万円	10億4,057万円	0.2%	9億7,357万円	9億9,841万円	△2.5%
農業集落排水事業	2,712万円	3,296万円	△17.7%	2,677万円	3,193万円	△16.2%
個別排水処理施設整備事業	1,092万円	1,172万円	△6.8%	1,081万円	1,128万円	△4.2%
後期高齢者医療	1億4,021万円	1億2,770万円	9.8%	1億3,986万円	1億2,712万円	10.0%
合計	41億1,950万円	40億3,538万円	2.1%	37億5,047万円	37億3,871万円	0.3%

企業会計の決算状況

		決算額	前年度	対前年度比
御代田小沼水道事業会計	収益	収入	1億9,363万円	1億8,981万円 2.0%
		支出	1億8,018万円	1億7,219万円 4.6%
	資本	収入	1,530万円	1,263万円 21.1%
		支出	4,426万円	4,629万円 △4.4%

たことなどにより、1億9,220万円、19.1%増となりました。

衛生費：新斎場建設完了に伴い負担金の支払いが終了したことなどにより、5,999万円、9.6%減となりました。

土木費：6,118万円、9.0%減となりました。都市再生整備計画事業が、7,566万円減額となったことが主な減額要因となりました。

【特別会計】

歳入合計4億1,195万円、歳出合計3億7,505万円となりました。

このうち、公共下水道事業特別会計は、処理場耐震補強長寿命化工事実施などにより、7,072万円、10.8%歳出増となりました。

【企業会計】

経常的な営業に係る収益的収入が382万円、2.0%増で、水道使用料が4,309万円増となりました。

建設工事等に係る資本的収入は、247万円、21.1%増、資本的支出は、203万円、4.4%減で、改良工事費が164万円減となりました。

問い合わせ先

企画財政課財政係(32)3112

健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
【 - 】	【 - 】	【 6.0 】	【 - 】
一般会計等の赤字の大きさを御代田町の財政規模に対する割合で表したものの	特別会計などを含む、全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	御代田町の借金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	御代田町が将来負担すべき借金などの大きさを財政規模に対する割合で表したものの

実質赤字比率、連結実質比率、将来負担比率においては数値なしとなっています。実質公債費比率については、昨年度数値4.5%より1.5ポイント上昇となりました。これは、公債費の増額が主な要因となっています。また、各指標において、「早期健全化」と「財政再生」の二つの基準が設けられており、この基準を超えると健全化に向けた対応が必要となりますが、御代田町は、各指標において基準を下回っているため、健全な財政状況となっています。

資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率
御代田町公共下水道事業特別会計	-
御代田町農業集落排水事業特別会計	-
御代田町個別排水処理施設整備事業特別会計	-
御代田小沼水道事業会計	-

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化したものです。経営状態の悪化の度合いを示します。御代田町はすべての会計において数値なしのため不足額が生じていないことがわかります。

町債(町の借金)

平成28年度町債残高(普通会計) 62億2,197万円

※普通会計＝一般会計＋住宅新築資金等貸付事業特別会計

借入先内訳

借入先	金額
財政融資資金	13億394万円
旧郵政公社資金	8,908万円
地方公共団体金融機構	5億2,033万円
市中銀行	25億4,322万円
共済組合等	2,413万円
その他	17億4,127万円
合計	62億2,197万円

平成28年度起債事業

事業名	起債額
社会資本整備総合交付金事業	1億7,700万円
緊急防災・減債事業	600万円
臨時財政対策	2億2,900万円
合計	4億1,200万円